

# バクテリオファージ研究の可能性と課題

日時：平成22年9月9日（木）、9月10日（金）

場所：大阪大学蛋白質研究所1階講堂

## 第1日目 9月9日（木） 午後1時～

13:00 - 14:35

挨拶

ファージ研究の最近の動向

C型とD型ポツリヌス毒素を支配するバクテリオファージのゲノム解析

黄色ブドウ球菌の病原性獲得に関わるファージ：二成分性毒素遺伝子を伝播するファージ群

黄色ブドウ球菌の病原性獲得に関わるファージ：表皮剥脱毒素遺伝子を伝播するファージ

- 休憩 -

座長：松崎茂展（高知大・医）

長谷俊治（大阪大・蛋白研所長）

有坂文雄（東工大院・生命理工）

阪口義彦（IR推進機構）

金子 淳（東北大院・農）

菅井基行（広島大院・医歯薬）

14:45 - 16:00

*Bacillus thuringiensis* におけるプロファージ転移性因子の挙動解析

ファージ療法およびファージを利用する新しい細菌検出法の開発：高知大学の取り組み

魚類のファージ療法における実践的課題

- 休憩 -

座長：長崎慶三（水研セ・瀬水研）

神田康三（佐賀大・農）

内山淳平、松崎茂展、大畑雅典（高知大・医）

中井敏博、河東康彦（広島大院・生物圏科学）

16:15 - 17:45

Chairman : Prof. Fumio Arisaka (Tokyo Institute of Technology)

### Joint session with International Science and Technology Center (ISTC)

Selection and purity of the phages used in therapeutic mixtures.

(Lab. of Molecular Bioengineering, Shemyakin-Ovchinnikov Institute of Bioorganic Chemistry, Moscow, Russia)

Dr. Konstantin MIROSHNIKOV

Usage of live bacterial viruses for therapy and prophylaxis - some questions.

(State Institute for Genetics and Selection of Industrial Microorganisms, Moscow, Russia)

Prof. Victor KRYLOV

18:00 -

懇親会

## 第2日目 9月10日（金） 午前9時～

9:00 - 10:15

牛乳房炎ファージセラピーに向けた取り組み

下水処理微生物生態系とバクテリオファージ

水圏環境のウイルス・ファージ研究の現状と将来展望

10:15 - 11:05

大腸菌リポ多糖の荷電置換基の多型解析とファージタンパク質による認識

バクテリオファージ Q $\beta$  の感染プロセス

11:05 - 13:20

ポスター発表/昼食

13:20 - 14:10

ファージ提示法による機能性抗体とペプチドのデザイン

T4 ファージ尾部基盤ウェッジの逐次的分子集合の機構

14:10 - 15:10

P2 ファージテイルスパイクタンパク質 gpV の解析

トキシン—アンチトキシンと T4 ファージ

終わりの挨拶

座長：中井敏博（広島大院・生物圏科学）

丹治保典（東工大院・生命理工）

佐藤弘泰（東京大院・新領域）

長崎慶三・外丸裕司（水研セ・瀬水研）、吉田天士（京都大院・農）

座長：武田茂樹（群馬大院・工）

小島久毅、内田智子、稲垣 穰（三重大院・生物資源学）

塚田幸治（大阪大院・工）

座長：米崎哲朗（大阪大院・理）

伊東祐二（鹿児島大院・理工）

金丸周司（東工大院・生命理工）

座長：伊東祐二（鹿児島大院・理工）

武田茂樹（群馬大院・工）

大塚裕一、米崎哲朗（大阪大院・理）

松崎茂展（高知大・医）

### 【世話人及び連絡先】

松崎茂展

高知大学医学部微生物学講座

E-mail : matuzaki@kochi-u.ac.jp

〒783-8505 南国市岡豊町小蓮

Tel: 088-880-2323 Fax: 088-880-2324

参加費無料（懇親会は有料）、事前登録不要

中川敦史（秘書 河合未奈子）

大阪大学 蛋白質研究所

E-mail : m-kawai@protein.osaka-u.ac.jp

〒565-0871 吹田市山田丘3-2

Tel: 06-6879-8635 Fax: 06-6879-4313